



# いるま 市議会 だより

No.127

平成16年6月  
定例会号  
2004年8月1日発行

## 6月定例会

条例など14案件を審議	2P
常任委員会行政視察報告	4P
14名が一般質問	7P
市民の声、ミニ情報	14P

# 第2回定例会

Topics

2004.6

した。  
ての議案が原案のとおり可決されま  
した。  
見書2件、市長提出による専決処分  
3件、条例3件、一般議案5件、平  
成16年度補正予算1件であり、すべ  
ての議案が原案のとおり可決されま  
した。

内容としては、議員提出による意  
見書2件、市長提出による専決処分  
3件、条例3件、一般議案5件、平  
成16年度補正予算1件であり、すべ  
ての議案が原案のとおり可決されま  
した。

平成16年第2回定例会は、6月2  
日から6月18日までの17日間開催さ  
れ、提出議案14件について審議され  
ました。

# 入間市産業廃棄物処理施設の設置等に係る周辺環境の保全に関する条例など14議案を審議!!

## 条例

### 新規条例

議案第42号

入間市産業廃棄物処理施設の設置等に係る周辺環境の保全に関する条例

全員一致で原案可決

議案第50号

入間市一般職の職員の給与の特例に関する条例

賛成多数で原案可決

議案第42号

産業廃棄物処理施設の設置等に際して、その計画を事前に公開し、事業者と周辺住民との紛争を防止する等、周辺環境に配慮した施設が設置されるよう必要な手続き等を定め、市民の良好な生活環境の保全を図るための条例である。

### 全部・一部改正条例

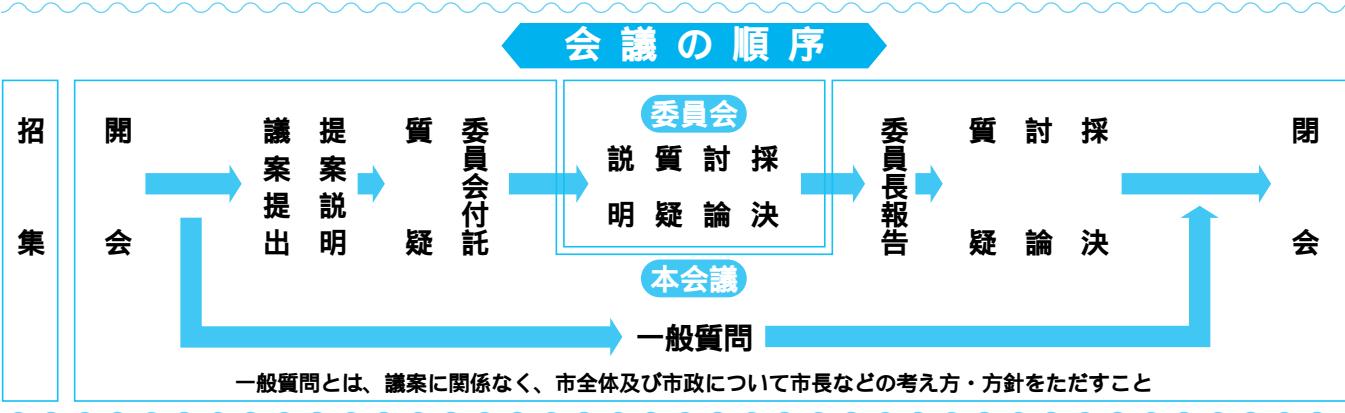
議案第43号

入間市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例及び入間市廃棄物減量等推進審議会条例の一部を改正する条例

全員一致で原案可決

議案第43号

ごみ集積所に出された資源物の所有権を明確にし、資源物の抜き取り防止を図るとともに、併せて条文の整備をするために改正するものである。



# 意見書

本定例会において議員提出による意見書2件が提出され、全員一致で可決し、関係機関に提出されました。

## 介護予防対策の拡充を求める意見書（抜粋）

介護保険制度は施行後5年を目標に制度全般に関する必要な見直しを行うこととされている。その際、現行制度の基本である在宅介護を阻害する問題点の抽出を行い、特に家族介護者への支援策等の強化を図り、さらに要支援や要介護度1の軽度の方々の健康増進策の強化とともに、認

定外の虚弱の方々を要介護状態にさせないよう新たな介護予防サービスを創設するなど、介護予防対策に全力をあげるべきである。さらに、政府においては、わが国の高齢化のピーク時を視野に入れて、「介護予防10カ年戦略（仮称）」を立て、全国の市町村に介護予防サービス拠点を整備するとともに、効果のある介護予防プログラムを開発するなど、介護予防対策のさらなる拡充を強く求める。

## 地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書（抜粋）

平成16年度の国の予算編成は、三位一体改革の名の下に、地方交付税等の地方一般財源の大幅な削減が行われたが、本格的な税源移譲が先送りされ、市の行財政運営に致命的な打撃を与えていた。このような中、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針二〇〇四」が閣議決定されたが、住

民が安全で安心して暮らせる行財政運営の実施できる改革の実現が重要である。よって、三位一体改革が地方分権の理念に基づいた真の地方分権改革となるよう求める。1. 地方交付税総額は、平成16年度以前の水準以上を確保。2. 平成17年度、基幹税による3兆円規模の税源移譲を実施。3. 国庫補助負担金は、地方分権の理念に沿った廃止・縮減。4. 三位一体改革に当たっては、地方公共団体の意向を十分尊重。

## ■ 議員表彰 ■

全国・関東・埼玉県の各市議会議長会定期総会において、各議長会の表彰規定に基づき、本市議会より次の議員が表彰を受けました。

### 在職15年以上

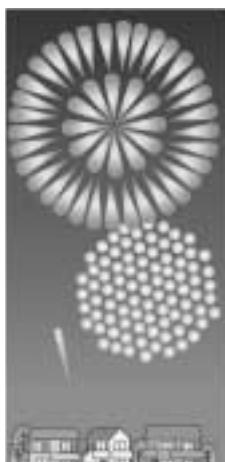
山下修子議員

金沢実千代議員

石本勝彦議員  
高山振二議員

## 議会を傍聴しましょう

議会は住民の、  
住民による、  
住民のためのものです。  
次回の定例会は  
9月に開かれる予定です。



☎2964 1111  
(内線5112・5113)

## 常任委員会

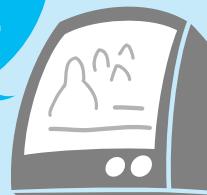
閉会中の委員会活動として、行政視察を行いましたので、その概要を報告いたします。

## 行政視察

## 報告

放映チャンネル  
11チャンネル  
放映時間  
議会開催日の午後6時から

入間CATVで  
本会議を  
全面放映  
しています



所沢市



**消防行政（消防口ボット）** 大阪市  
自走放水砲は、小型カラーカメラを搭載し、遠隔操作による俯仰・旋回に加え、放水砲の動作に連動する機能により、放水砲の確認や放水方向の設定を容易にしている。また、化学車からの中継受水により放水し、内径100mmの耐熱ホースの延長により、無人で化學車の位置から100m先までの火点に近づき放水する。入間市には自衛隊があり、相当な燃料の備蓄があるので、万が一に対応することも視野に入るべきであり、また、人命尊重



東かがわ市（市庁舎前）にて

た。さらに、平成12年4月に3町の法定合併協議会が設置され、平成13年4月までに12回の協議会を経て平成13年5月30日に合併協定の調印が行われた。住民への啓発活動としては、平成11年9月から平成12年3月まで合併研究会の取組みとして町庁報紙へ統一記事を掲載した。平成12年4月以降は合併協議会だより「さん！みらい」を発行し、平成13年10月まで全13号を全世帯に配布した。住民へは3町のままでは将来的に財源確保が難しい現状、合併によって経費の削減を図れること、まちを大きくして力をつけたい等、説明を行つてき。財政的な問題を最優先した合併ということであつたが、合併しても財政の好転が思うようにいつていなない現状があり、慎重な将来を見据えた合併を心すべきと感じた。

所沢市  
道路立体交差事業  
視察の主な目的  
は、鉄道と幹線道路が交差する踏切での交通渋滞の解消を図るため、道路立体交差について調査研究したものである。現状は藤沢地区の主要地

方道川越・入間線・東町の幹2号線、仏子の県道富岡・入間線等は、朝夕いずれの路線も踏切部分での交通渋滞が生じている。このため、先進地の所沢市が行つてある道路立体交差事業の取組みや整備状況等について視察を行つた。



した事業は、所沢市の都市計画道路である上新井富岡線と新所沢駅前通り線の道路立体交差事業で、この2路線とも鉄道敷をくぐる道路であつた。はじめに、上

新井富岡線の道路立体交差事業は新所沢駅近くに位置



所沢市（施工中の新所沢駅前通り線、上新井地内の立体交差）にて

するもので、推進工法により総事業費87億1千600万円をかけて、平成12年10月に開通したものである。従前は踏切による交通渋滞が発生していたが、現在では人・車ともスムーズな流れとなり、事業の成果が表れていると感じた。また、新所沢駅前通り線の道路立体交差事業は、小手指駅の東側一帯を施工している第二上新井特定土地区画整理事業地内にあり、開削工法により総事業費約26億4千500万円をかけて、今年秋頃に開通見込みである。

いずれの路線も踏切による交通渋滞を解消し、市民等の交通利便を向上させていた。今後当市の道路計画を検討する上で参考になつた。



高浜市（いきいき広場）にて

高浜市  
特区「ふれあい・だんらん」 高浜  
市は人口約4万人の小規模なまちで  
ある。知的障害者及び障害児のため  
の施設基盤整備を図るには、対象と  
なる障害者の絶対数が少ないとや  
投資的効果からしても困難であつ  
た。そこで、構造改革特別区域計画  
認定により、介護保険法による指定  
通所介護事業所を知的障害者及び障

厚生常任委員会

4月26日 愛知県  
高浜市  
4月27日 静岡県  
掛川市



市内循環バス 過疎化と自家用車の普及に伴い民間バス会社が撤退し、平成13年度に掛川駅と市庁舎を核に医療福祉施設や教育文化・体育・観光施設のネットワーク

害児が、デイサービス施設として利用し、在宅福祉サービスを充実させる計画をたて、実現させた。現在の利用施設は介護保険法による通所介護施設であり、高齢者の利用を優先することから、障害者の計画的利用が難しいなど課題はあるが、今後的是あるが、今後の利用ニーズにより実施施設を拡大するとのことであつた。福祉施設に対する市民要望に対して、様々な検討をするところで視野が広がる思いであつた。

## 委員會

委員会は、本会議で決定する前に、いくつかの部門にわかつて専門的に審査する会議です。入間市には、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会が次のとおり置かれています。

総務常任委員会：企画部、総務部、消防、会計課、検査課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会に関する事項、他の常任委員会に属しない事項

## 建設水道當任委員会・建設部、区画整理部、水道部に関する事項

## 建設部運営委員会：建設部、巡回整理部、巡回部に関する事項 厚生當任委員会：市民部、福祉部、健康福祉センターに関する事項

## 文教経済・農業委員会に関する事項

議会運営委員会：議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項

## 基地対策特別委員会：当市内に所存する旧ジョンソン基地跡地利用と入間基地・横田基地にかかる諸問題への対策に関する事項

## にかかわる諸問題への対策に関する事項 交通対策特別委員会：都市機能としての交通対策及び事故防止対策並びに近隣市町との 調査検討に関する事項

## 調査検討に関する事項

# 公開講座

## 東京都杉並区長 山田 宏氏

とき 11月5日(金)午後6時~  
ところ 入間市産業文化センター(ホール)  
テーマ 『市民とともに考える行政改革』  
東京・杉並区の事例に学ぶ  
参加費 無料  
主催 入間市議会  
問い合わせ 議会事務局 内線5112

ーク化、中心市街地の活性化対策を兼ねた市街地循環バスを計画した。平成15年5月に道路交通事情と利用客ニーズと収支計算を総合検討した結果、南回り12km・北回り12km、1日各19本、計38便1周約45分間隔、料金1回100円で運行開始した。理念と市民サポート運動を樹立するため、サポートシステムを導入し、利用者数、収入状況は上がっている。

会津若松市  
中心市街地活性化  
会津若松では、  
国の法制定に先駆けて準備が進み、  
平成10年には「株式会社まちづくり  
会津」が設立されている。平成11年  
に、市は「中心市街地活性化基本計  
画」を全国で76番目に策定し、TMO  
構想も策定され、株式会社まちづ  
くり会津は、全国で17番目にTMO  
として認定された。中心市街地活性  
化基本計画では、人々が歴史や文化  
に触れ交流することにより、かつて  
の城下町の通り、辻が賑わう「城下  
町回廊の賑わい」が目指すべき中心  
市街地像となっている。具体的な事  
業としては、商店街活性化プログラ  
ム推進事業、共通スタンプ事業、駐  
車場管理運営事業、チャレンジショ  
ップ事業、(仮称)野口英世記念広  
場整備事業等がある。観光資源に恵  
まれている等、入間市  
と条件の違いはある  
が、早い段階で株式会  
社としてTMOを立ち  
上げた経緯や統一感の



会津若松市

文教経済  
常任委員会

4月19日 福島県  
会津若松市  
4月20日 山形県  
長井市



長井市(コンポストセンター)にて

ある町並み、来訪者に対する様々な  
配慮など、参考になる点は多い。  
長井市  
レインボープラン このプランは、  
家庭から出る生ゴミなどを堆肥化  
し、地域の有機農業を促進して、そ  
の農産物を地域で消費するといつ  
た、「台所と農業をつなぐ」計画で  
あり、地域内循環システムの推進を  
図っている。計画の提案から事業の  
具現化や実践に至るまで、市民と行  
政のパートナーシップでの推進が図  
られていることが、大きな特色であ  
る。農産物の販路の確保や消費者へ  
の説明責任を果たしていることなど、  
大いに参考となつた。

視察目的(テーマ)は「いるま市議会だより」の編集!  
もう一つの  
受入れ編  
行政視察  
報告  
いるま市議会だより  
もこのような機会を通じて情報収  
集・研究を進め、より読みやすい・  
親しみやすい紙面づくりに努めます。

5月12日 長崎県諫早市  
5月19日 茨城県牛久市  
7月29日 茨城県つくば市  
入間市では毎年、1年間に10~20  
件程度の視察団を全国各地から受け  
入れています。

視察目的(テーマ)は、市議会の  
運営に関する件をはじめ多岐にわ  
たりますが、なかでも今年度は、「い  
るま市議会だより」の編集をテーマ

とした視察が増えています。7月ま  
での間すでに3市を受け入れました。  
これは平成15年3月定例会から開  
始した新紙面の導入による効果と考  
えられます。視察当日は、議会だよ  
り編集委員長等が説明者となり、編  
集方針や編集の流れ、規格等につい  
て説明するとともに、活発な質疑応  
答や意見交換を行いました。

議会だより編集委員会では、今後  
もこのように情報収集・研究を進め、  
より読みやすい紙面づくりに努めます。

# 一般質問

6月定例会の一般質問は、質問者14名により6月11・14・15日の3日間行われました。

質問・答弁内容は、質問者本人が要約したもので

## PCB保管庫、歩行者の安全対策

金子健一議員

Question 1

**質問** PCB保管庫、歩行者の安全対策について、市長の見解をお聞かせください。

市長 管理されていた米軍のPCB廃棄物が、入間基地内の保管庫に移される。PCBは「カネミ油症事件」でその毒性が社会問題になつた。保管状態はどうなるか。いつまで保管するのか。

市長 消防法に基づく貯蔵所の申請が許可されている。コンクリート床に鉄板トレイを敷きその上に設置する。換気ダクト、警報設備、周辺にフェンスを設置。PCB法に基づき平成27年までに無害化処理される。



求められる歩道改善と駐車対策

**質問** 米軍が撤退し、廃棄物が回収されるまで放置されていたと思うが、状況は把握されているか。

市長 できるだけ把握に努めたい。

**質問** 中橋北側の歩道も勾配が急で危険。西武地区の議員も連名で要望しているが、今後の対策は。

市長 根本的にはフラットにした



交通緩和が期待される馬頭坂線

## 合併特例債で借金を増大させるな

石田芳夫議員

市民に論議する十分な時間

を与える合併を急速に進める理由は、合併特例債と言つ借金活用の権利を得たためとしてきた。その借金の条

件緩和と償還金の交付税措置と言つ手法は、90年代に地方自治体に公共事業を推進させた政策と同じである。

その結果、一般会計、下水道、区画整理、水道事業の今後の返済総額は、入間市が675億円、狭山市が666億円、両市で1千341億円にもなつていい。

合併特例債を全て借りると467億円の返済が増加し、1千808億円にもなる。

自治体の単独負担は、対象外の5%と交付税措置からはずれる30%の合計で162億円にもなる。合併した自治体の借金が膨大になり、税金や料金の値上げと市民サービスの後退を招く。市長として合併協議会に特例債事業として何を提案し、それにより市民生活の何が改善されるのか。

**質問** 私としては影響が大きいので提案しない。協議会で議論されるべきだ。返済計画も含めて考える。

**質問** 基地縦貫道の一体整備を合併のメリットにあげているが、どのような方式と事業費か。

市長 鉄道とのオーバー方式の立体交差で30から40億円が必要である。

**質問** 仏子郵便局周辺の歩道がまだ改善されず、利用者の路上駐車もあつて危険。改善と駐車場の確保を。

市長 地形的に根本的な改善は難しいが、良い方法を見つけて改善すべく、根気よく話し合つていきたい。

**質問** 馬頭坂線が27億円もかけて工事中であり、それにより縦貫道の交通量が分散される。立体交差は提案すべきではない。多額の借金を抱えた自治体を子どもたちに残してよいのか。

市長 價値ある事業であり論議すべきだ。返済計画も含めて考える。

Question 3

## 西洋館を市民の手で活用しよう

野口哲次議員

**質問** 西洋館が市民の財産となつたことから、文化活動や、コミュニティーの場として活用したいと思っている方が多いのですが。

一方、西洋館は国の登録文化財であるが、この制度は、文化財を自由に活用できるゆるやかなもので、外観を変えなければ自由に使うことができる。

そこで、西洋館については、市民が幅広く活用することを目指し、企画や調整等、運営・管理を市民に委ねることを基本にしてはどうか。これまでのアーチー等の公の施設での市民の活動の実績を考えればかなりの部分の運営委託ができる。そのことが、市民を主役とする「元気な入間まちづくり基本条例」の趣旨に沿う。

**市長** 西洋館は保存に配慮しなければならない登録文化財である上に、起債をしていることから當利を目的とした行為ができるないという制約もある。そのことを確認したうえで西洋館の運用に市民の力を借りていきたい。



平成18年度全面供用開始となる西洋館

Question 4

## ハツ場ダム建設計画は見直しを！

山下修子議員

**質問** 水資源の確保ということで基本計画の進行管理をみると、国・県に対策を要望するとなつていい。脱ダムの風潮のなかで自治体側に修正すべき点があるのではないか。5月にハツ場ダム建設予定地を調査してきたが、吾妻川は酸性が強く上流で毎日中和のために60トンの石灰を投入し年間経費は約10億円。工事には不向きである。しかも建設負担金は周辺整備まで入れると、総事業費は約6千億円にのぼる。

現在は地下水位も高く既に夏期も水不足の現象は少ない。入間市もこのダムから給水を受けることになつてるので、市の水需要の現状と給水人口の予測はどうなつてているのか。水道事業管理者 給水人口は下方修正した状況にあり、今後の水不足はあまり考えられない。

**質問** パワーリハビリ（高齢者向けのトレーニング機器を使用して行うもので、日常生活に必要な動作と体力の改善を目指すリハビリ）を導入し、介護状態の改善について効果を上げた自治体が紹介されている。入間市でも導入を検討しては。

**市長** 高齢者福祉計画の議論のなかで検討していきたい。



水没予定地区を調査

**質問** 昨年、個人情報保護関連5法案が成立し、平成7年に制定した市の個人情報保護条例を改正する必要が生じている。同法には全面施行後3年を中途に必要な措置をとること

**総務部長** 罰則を入れるべきかと

## 野田土地区画整理事業と防犯対策

横田芳夫議員

**質問** 野田土地区画整理事業について、平成15年度末の事業進捗状況と事業完成までの見通しは。

**市長** 平成15年度末の進捗率は事業費ベースで約55%、完成は平成21年度の予定である。

**質問** この事業は組合施行であるが、過去の経緯もあり、市の全面的な支援を受け、事業を展開している。合併後も事業が完成するまでの間、現在同様に市は継続して支援していただけるのか。

**市長** 事業の立ち上げ経過を踏まえ、合併後も職員及び補助金による支援等を継続的に行う。



野田土地区画整理事業地内

## 宮寺へ延長！武藏藤沢中央通り線

近藤常雄議員

**質問** 地域住民の通学・通勤の利便性、街の活性化と安心して暮らせる街づくりの実現に向けて、武藏藤沢中央通り線の宮寺方面への延長要望に対して、入間市長は新春あいさつの中で、国道463号バイパスから宮寺方面への延長計画を所沢市長と話し合い、合意したこと述べた。

**所沢市** ため、国道463号から三ヶ島地区を通り宮寺の東側に接続するのが妥当である。線形は関係地権者、所沢市と協議し、今年度に確定し平成17年度中に測量したい。

今

**質問** 市民が安心して暮らせる街づくりのため、防犯対策は急務である。基本的な進め方は。

**市長** 防犯対策は、市民の自主的な行動や地域の連携が必要である。行政としてもできる限り支援したい。



武藏藤沢中央通り線と国道463号バイパスの交差点付近

**質問** 市道D161号線、通称三本

桜から国道16号の区間は道路状況が悪い。改良工事できないか。市道D161号線と通称金子坂線の交差点は変則で危険である。何とか早く交差点の改良整備ができるいか。

**市長** 平成16年5月に地権者説明会を開催した。今年度に測量を行い、2カ年で用地買収する。市道D161号線の改良工事と金子坂線との

交差点改良工事を同時に施工し、開通したい。

**質問** 国道16号大森交差点の歩行者安全対策として、地下道又は歩道

橋の設置要望に対し経過と今後は安全施設の設置要望をしたが、広い交差点であり、地形上からも施工は難しいとのことである。今後も要望に沿った内容で、国道側と協議する。

Question 7

## 地域活動の活性化と無事故の運営

堤 利夫議員



**質問** 昭和40年代、人口の急増に伴い新設校の建設が数多く行われ、学区の編成替えも実施された。現在、地区を越えて通学している児童・生徒数は、また、卒業後、居住地区での地域活動に積極的に参加できるよう具体的な支援策を講じてきただか。

**教育長** 豊岡、金子、東金子の地区で542名が地区外通学をしている。教育委員会として、特に居住地区への係わりを支援する策は講じていな。地域の中で具体的な対応をしていただきことが望ましいと思う。



年々充実される読書環境

について、県内39市の中で、昨年度予算に比較して最も伸び率が高かつたのが入間市である。469万円増の主な内容は、  
**教育長** 図書室の蔵書管理をコンピューター処理するための費用が主な増額内容である。

**質問** 窓口払い廃止は子育て家庭の切実な願い。現在埼玉県内17自治体で実施されている。このほど飯能市、日高市、名栗村は市民の要望を受け入れ、今年12月実施予定で廃止に踏み切る。

付加給付に二重払いが生じてしまうという問題は、関係機関や他の自治体の実態調査を行い、検討が進められてきた結果、二重払いにならないこともわかった。当市も市民要望に応え窓口払い廃止の決断をすべき。

**市長** 今年5月の診療から申請代行をスタートさせた。最終的には窓口払いをなくす方向に向かっていく。また、付加給付の問題は先進自治体の取り組みなど早急に調査したい。

**質問** 窓口払いをなくし、効果を高めるために近隣市と協力体制を。市長 情報交換は行っていく。

**質問** 乳幼児医療費の無料化は子育て家庭の強い願い。どこに住んでいても平等に受けられるよう、国・県の制度となるよう働きかけを。市長 働きかけていこうとは考えていらない。



## 乳幼児医療費は窓口払い廃止の方向

対馬ヨシ江議員



**質問** 就学前の子どもは病気になりやすいため、早期発見、早期治療が必要。いつでも安心して医療機関にかかる対応が求められる。子育て支援、少子化対策は急務。乳幼児医療費の通院について、就学前までの拡大をはかるべき。

**市長** 基本的には段階的に引き上げるという方針は出している。平成17、18年で拡大したい。

**質問** 窓口払い廃止は子育て家庭の切実な願い。現在埼玉県内17自治体で実施されている。このほど飯能市、日高市、名栗村は市民の要望を受け入れ、今年12月実施予定で廃止に踏み切る。

付加給付に二重払いが生じてしまふという問題は、関係機関や他の自治体の実態調査を行い、検討が進められてきた結果、二重払いにならないこともわかった。当市も市民要望に応え窓口払い廃止の決断をすべき。

**市長** 今年5月の診療から申請代行をスタートさせた。最終的には窓口払いをなくす方向に向かっていく。また、付加給付の問題は先進自治体の取り組みなど早急に調査したい。

**質問** 窓口払いをなくし、効果を高めるために近隣市と協力体制を。市長 情報交換は行っていく。

**質問** 乳幼児医療費の無料化は子育て家庭の強い願い。どこに住んでいても平等に受けられるよう、国・県の制度となるよう働きかけを。市長 働きかけていこうとは考えていらない。

## 武藏藤沢駅東口開設の対策

金沢実千代議員



**質問** 大型店進出により、小売店舗は、厳しい経営状況にある。市は小売店事業主の方々と積極的に相談や研究に携わるべきと考える。商店街パティオ事業や、高齢者の家庭へ食生活の御用聞きをして宅配する共同事業等、研究できなか。

**環境経済部長** 大型店の真似のできないサービスと思う。店舗の皆様がアイデア等を出してほしい。市、商工課も相談に乗り支援をしたい。

**質問** 仮称「グリーンガーデン武藏藤沢」の出入口は、踏切りの手前に設置の計画である。地元交通対策を考慮し万全を期すべきである。

**建設部長** 踏切りより幅員2mの歩道40mを設置し十分交通協議する。

**質問** 東口開設までに、国道463号に手押し信号機の設置をすべき。

**市長** 県の方へ要望していく。

**質問** 市道F416号線は、国道463号より東口改札に行く唯一の道路であるが、拡幅と舗装をして頂きたい。

**市長** 入口の拡幅と舗装をする。

**質問** 乳幼児医療費の窓口払いの撤廃について医師会の見解は。

**福祉部長** 医師会と話し合っていない。県の動向を見て検討する。

**質問** 東口開設は、何回も質問し要望を重ねてきた。平成19年開設の朗報に住民は喜んでいる。平成19年に改札口に行ける歩道を線路側に設置すべきと、住民の署名と要望書を市長に提出したが、設置は。

**市長** 一幅員4mの歩道を設置する。

## 武藏藤沢駅周辺・三市消防広域化

宮岡治郎議員



上仏子の市道G570号線の、宮岡燃糸前の県道からの斜めの分岐点付近

**質問** 武藏藤沢駅と周辺について、(1)西口側整備と東口開設の展望はどうか。(2)狭山市・入間市合併協議会の計画に駅自由通路を加え、合併特例債の対象事業とする可能性は。(3)駅東側の大型商業施設の新設によって、西口の区画整理に影響はあるか。

**企画部長** (1)西口交通広場築造で駅舎移築の時期に、駅舎橋上化並びに自由通路の設置による東口の提案が、西武鉄道からあつた。国の補助が、西口の区画整理に影響はあるか。

**消防長** (1)県内では、さいたま市消防局に次いで2番目、全国的にも防の広域化について、(1)計画は人口規模でどの位置付けになるか。(2)消防の高度化は具体的にどうなるか。

**質問** 入間・狭山・所沢の三市消防の広域化について、(1)計画は人口規模でどの位置付けになるか。(2)消防の高度化は具体的にどうなるか。

**消防長** (1)県内では、さいたま市消防局に次いで2番目、全国的にも18番目の規模となる予想。(2)三市が保有する特殊災害用の機材の数量や種類が増えることで、対応力が向上。

**質問** 上仏子の市道G570号線について、(1)加治丘陵付近の狭い区間の車両の通行の確保と、側溝等の雨水対策は。(2)宮岡燃糸前の県道との斜めの接合部分の、通行の円滑化は。

**建設部長** (1)障害物は撤去を図つてゆきたい。簡易舗装の要求もあり、早急に検討したい。(2)埼玉県の飯能県土整備事務所に、要望してゆく。

Question 11

## 武藏藤沢駅西口及び東口について

齋藤武久議員



武藏藤沢駅前（西口）

**質問** 武藏藤沢駅西口交通広場完成時期はいつ頃か。  
身体障害者の交通機関を利用した安全性の向上をどのように考えているのか。バスの乗降場所について、便数増加や路線増加をどのように考えているか。他の駅前広場を見るときタクシープールがあるが、西口交通広場はどのように計画しているか。

**市長** 平成17年度、18年度で西口交通広場を是非完成させたい。

駅の橋上化の問題がいま議論をされており、場所についてはまだ変更する可能性があるが、安全な場所、移動しやすい乗降場所となるように計画をしている。バスの乗車場2カ所、降車場1カ所、待機用1台分を確保している。路線が増加しても対応可能である。タクシープールは10台程度の待機ができる。

**質問** 特急・快速急行の武藏藤沢駅停車について何本かでも停車するよう西武鉄道へ働きかけできないか。  
**市長** 乗降客が特別増加をするというような要因があれば鉄道側と快速急行等を含めた特別列車等の増車もお願いしていきたい。今後も西武鉄道とは接触を保つて行きたい。



**質問** 東口の大型店出店が計画されているが、オープン予定はいつか。また、出店業種の予定は。  
**市長** 開発計画の中では来年早々にオープンさせたいとの意向。業種の関係でスーパー・マーケット、物販店、スポーツクラブ、飲食店、カラオケ店等が予定されている。

Question 12

## 低層階商業業務誘導地区の指定

塩屋和雄議員



**質問** 豊岡二丁目・商業地域の飲食店跡地にマンションが計画された。商店街の連続性が失われ、今後の街づくりに支障が出ると危機を感じた関係者が、一階部分に店舗を配置するよう計画者側に申し入れたが、そのまま工事が始まってしまった。都市計画法では特別用途地区が規定され、建築基準法では、建築の制限等必要な規定は条例で定めることができる、とされている。杉並区荻窪駅周辺でも最近、建築物一階の一定割合を店舗に規制する『低層階商業業務誘導地区』を指定、条例化した。入間市でも条例化すべきではないか。

**市長** 日本では個人の所有権が最大限認められており、個人の考え方による。

**質問** 放置自転車対策の駐輪場地確保も困難になっている。たつたの十秒で預け入れも取り出しあれども、システム化された立体駐輪場の建設を考えるべきでは。海老名市では、130坪の土地で720台収容している。  
**市民部長** 景観上や土地の有効利用上からは、将来の課題としたい。

## 行政評価で時代にあつた行革を

駒井 勲議員

**質問** 行政評価を導入するよう要望したが、その進捗状況はどうなつているか。

**市長** 市民にわかりやすい行政評価を研究しているが、現在市では計画の進捗状況を把握し、一定の評価をする進行管理システムを導入している。しかし、結果チェックにとどまつている。



**質問** 道州制をどう考えるか。

**市長** 市町村は行財政基盤を確立し地方主権という立場で議論する。



## 小学校での英語教育を!!

鹿倉貞一議員



**質問** 介護保険は、市が主体となり運営をしていく重要な問題があるので、10年、20年先までの財政計画を作つたらどうか。

**市長** 介護保険を受ける方がどう変化していくかわからないので、3年ごとの保険料の見直しで進めていく。



**質問** 国際社会に生きるために、異文化理解、自文化理解であつたり、コミュニケーション能力、自己表現力などの資質や能力の育成が重要である。しかしこのことは、教え込むだけで育成できるものではない。コミュニケーションとは人から人への情報の伝達、結果、両者にある種の共通性がうまれることである。この能力を育成するために、今、注目されているのが、小学校での英語教育である。中学校英語とは違い、書くことや文法はなく、会話だけである。授業は挨拶、歌で始まり、体操、会話とりズム感あふれる授業である。子どもたちは、楽しそうに積極的に英語を使い、自分を表現している。教師の話では、積極的にコミュニケーションをとる姿がみられ、様々な場面においても自己表現できるようになったと高く評価している。しかし小学校英語に反対の声もある。日本語も満足にできない年齢から何

**質問** 行政評価は必要性、有効性、達成度、効率性という観点から事務事業を評価していくが、現在地方自治体があかれている状況は、財政の悪化、新たな行政需要、そして市民ニーズの多様ということが挙げられ、これに応えての行政に総合評価を行い、優先順位をつけたらどうか。

**市長** 優先順位をつけることは理想と思うが、どういう手法でもつて行つていくか、検討していきたい。

**質問** 介護保険は、市が主体となり運営をしていく重要な問題があるので、10年、20年先までの財政計画を作つたらどうか。

**市長** 介護保険を受ける方がどう変化していくかわからないので、3年ごとの保険料の見直しで進めていく。

**教育長** 必要性は感じている。総合的な学習の時間の範囲で、今はやつている。市内2校を指定校とし施する。教育特区の認可をとり、英語教育を進めるつもりはない。

# 市民の声



高倉

佐藤由紀(会社員)

福祉の狭間で・・・



あらゆる福祉サービスが充実し、支援費制度が始まり、障害者が自由に受けたいサービスを選べる時代になつたとはい、制度の狭間で埋もれています人がまだまだたくさんいる現状なのではないか。

例えば、一家を支える大黒柱だつた方が急に障害となり、住宅ローンを抱える家族の中で、働けない間に介護の手間のかかる存在となり厄介者になつてしまつて。本人も家族には働けなくなつた自分の要望や要求が言えず、肩身の狭い思いをしている。自分の体の具合が悪くても自分の代わりに働いている家族に負担をかけたくないために、緊急な状態になるまで我慢せざるを得ない状況におかれている人もいるのです。

そういうた方にこそ、本人の介護と共に家族の介護負担を軽減する等あらゆる支援をするための福祉があるのではないかと思う。



食生活改善推進活動に携わっています最近感じることは、本来食は自分で賄うものでしたが、食環境の変化と共に食事を外で安易に済ませたり、出来合いの物に頼りがちになります。また、栄養バランスの大切さが忘れられつつあるように思います。骨は20歳まで、味覚は10歳までに形成されるとのこと。慣れ親しんだ味が一生を決めると思うと、親の責任は重大だと思います。人間は食べることで今日の元気と明日の命をつないでいます。入間市はお茶の産地であり「茶は養生の仙薬、延齢の妙薬」と古くからお茶は万病に効くといわれておりますように、お茶を始めとし地元の新鮮な旬の食材に目を向け、生活習慣病等の予防のためにも食べものに、もっと興味を持つて頂けるよう、出来ることから食生活の大切さをお伝えして行きたいと思っております。



上藤沢

木村 木(主婦)

食生活について

**9月定例会日程案**

9月 1日(水)	開会
9月 6日(月)	総括質疑
9月 7日(火)	総括質疑
9月 9日(木)	委員会
9月13日(月)	一般質問
9月14日(火)	一般質問
9月15日(水)	一般質問
9月21日(火)	閉会

日程については、変更する場合もありますので、議会事務局へお問い合わせ下さい。  
2964-1111 内線5112・5113

## 議会だより編集委員会

田中 智義 金子 健一  
山下 修子 神谷 達 金沢実千代  
宮岡 幸江 鹿倉 貞二 近藤 常雄  
齋藤 武久 高橋 満男

は委員長 は副委員長

## ミニ情報

彩の国まごころ  
国体・炬火リレー

埼玉県で22年ぶりに開催されます国民体育大会“彩の国まごころ国体”が近づきました。入間市では、10月24日(日)から26日(火)までの3日間にわたって「なぎなた競技」を開催します。

それに先立ち、県内全市町村で「国体」と国体終了後に開催する「全国障害者スポーツ大会」の大会旗と炬火のリレーを実施します。炬火とは、オリンピックの聖火にあたるもので、第5回の愛知国体でメイン会場に灯され、第12回の静岡国体から県内をリレーするようになりました。

当市では、10月17日の日曜日に大会旗と炬火のリレーを実施します。飯能市から受け継ぎ、所沢市へ引き継ぎます。リレーのコースは、市内全域で7区間を走者が走ります。各区間の走者は、公募や推薦で決まった小学校5

年生以上の地元在住の方々を中心に編成しました。市民の皆さん沿道でランナーに対し暖かいご声援をお願いいたします。

